

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 27 年 3 月 9 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3490100298		
法人名	有限会社 バースト		
事業所名	グループホーム 丹那の杜		
所在地	広島県広島市南区丹那町22-10-10 (電話) 082-254-708		
自己評価作成日	平成27年2月11日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_2014_022_kani=true&JigyosyoCd=3490100298-00&PrefCd=34&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	平成27年3月3日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

開設5年目を迎え「共生」と「よりそい」の理念のもとに、町内行事等にも定期的に参加することが定着してまいりましたが、更に昨年からは、隣接する施設と合同でイベントを行い、季節の行事だけではなく毎月のイベントを充実させております。又、職員研修に外部からの講師を積極的に招き、職員のスキル・レベルアップを目指し実施しております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

事業所は閑静な住宅街に位置するグループホームでありながら、都市部から比較的アクセスの良い場所に立地するグループホームである。同一法人の高齢者住宅やグループホームが隣接しており、職員の研修やイベント等で協力し合って運営を行っている。
建物内は広く開放的であり、広いウッドデッキやベランダで日光浴をしたり、屋上スペースでは花火大会を見物することができるほか、近隣には公園や神社もあり、地域の祭りなどの行事にも気軽に参加することができる。
季節ごとの行事をだけでなく毎月のイベントも充実させ、外部講師を招く研修を実施するなど職員教育にも力を入れている事業所である。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	事業所理念を、職場内に掲示して職員に周知し、研修やミーティング時にも意識付けするようにしている。	法人および事業所の理念である「共生」「よりそい」を念頭に、職員ミーティングや研修において意識付けを常に行っている。特に職員の接遇に力を入れており、制服も取り入れ統一感のある対応を目指す等、管理者や職員も理念の実現に向けて取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	町内会に入り、町内会の方の御協力を得て町内行事に参加したり、町内の清掃などへの参加にも心がけている。	町内会長の理解も深く、地域の行事への参加や清掃活動、祭りなどへの参加もなされており、利用者が地域の一員として暮らし続けられるような取り組みがなされている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	町内行事に参加することで、地域の人と交流を図り徐々に理解して頂いていると思われる。散歩しているときなど地域の人に挨拶をするよう心がけている。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議実施での、皆様のご意見を取り入れて施設運営に活かせるように検討している。	利用者の様子やサービスの取組み状況などは情報発信しているものの、平成25年8月を最後に運営推進会議が実施されていない。	日頃のイベントや、事業所内で起こったヒヤリハットなどの事例は集約、管理されており、また家族や地域関係者も交えた運営推進会議を行う体制は出来ており、今後定期的にかかれることが望まれる。
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	更新・変更・申請時の不明な点などの連絡は取れている、必要に応じて協力関係を築けるように取り組んでいる。	介護保険担当部署や、生活保護担当部署とも情報交換がなされており、隣接するグループホームと共同で、行政からの協力に応じる体制は整えられている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>「身体拘束防止マニュアル」・「身体拘束・虐待防止研修」を基に、スタッフへの周知に努めており、職員も正しく理解している。</p>	<p>隣接する3施設合同での研修会や、外部研修における事業所内の伝達研修もなされているほか、身体拘束防止のためのマニュアルは整備されており、やむを得ず拘束を行うための様式も整えられている。現在は介助の工夫により身体拘束は行われていない。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることのないよう注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>「虐待防止マニュアル」・「身体拘束・虐待防止研修」を基に、スタッフへの周知に努めており、職員も正しく理解している。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>「権利擁護研修」を実施して、職員には周知させているが、職員にはあまり対応する場面がないため、理解不足に思われる。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約には十分に時間を掛けて御家族対応している。又、日頃から契約内容についての疑問点等の対応を施設長が対応することで、理解・納得を得ている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>家族会・アンケート回収・日頃の面会時での意見聴取等を通して、ご意見を承り運営に反映している。</p>	<p>家族会を年に1～2回行っている。日頃から家族との情報交換がなされており、連絡も頻回に取り合っている。アンケートボックスからは、家族からの意見により時計を設置する等、具体的な改善がなされている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>職員の個人面談を定期的実施することで、個別の意見聴取を実現し、運営に反映させている。</p>	<p>半年に1回行われる人事考課や、管理者の異動に合わせた職員の個人面談を行っており、職員からの意見を日頃から聴取し、事業所の運営に反映させる取り組みがなされている。その結果、入浴時間の工夫や休憩時間の工夫など、職員の意見を事業所の運営に反映させている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>資格取得・研修参加への助成を実施して、労働環境を整備している。人事評価も半年に1度実施して、職員が向上心を持てるように努めている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>受験対策講座としては、介護支援専門員講座・介護福祉士講座を無償にて社内で実施し、希望者には受講できるよう、勤務調整等を配慮している。又、職員全員に教育訓練研修として、毎月研修を開催し、技術・知識の向上に努めている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>外部研修への参加などを通して、施設長・管理者同士のネットワーク作りを斡旋している。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>入居時の事前面接にて、ご本人の情報収集を実施し、ご入居者の方のサポート体制を充実できるように努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>入居時の事前面接にて、御家族からの情報収集を実施し、ご入居者・御家族の方のサポート体制を充実できるように努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>必要に応じて、御家族と相談の上ケア内容を検討し対応している。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>職員は日常生活の支援を基本にしており、本人ができることを積極的に取り組めるよう声掛けして実践に努めている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>御家族には行事の際には、案内状を送付し、御家族の絆を大切に頂くように心がけている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>面会は可能な限り自由を実施している。</p>	<p>利用者がなじみの店や美容院に行けるように支援したり、友人との手紙のやり取り、以前通っていた施設に通っていた知人との交流など、それまでの関係性の継続のための支援がなされている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	日々のレクリエーション活動を通して、皆様で関われる時間を作り、相互の理解を深めて頂く様に心がけている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	退居後も相談援助があれば迅速に対応するようにしている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	定期的にモニタリングとアセスメントを実施して、把握に努めている。	家族の面会時に、本人のそれまでの暮らしぶり等を聞き取り把握するほか、利用者が慣れた職員に聞き取りを行うことで、本人の意向を把握している。エレクトーンが好きな利用者には用意したり、庭の芝を畑に変えるなど、本人の意向に沿った具体的な支援が行われている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	事前面接時に、生活歴等については聞き取りしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	施設での生活を通しての気づき等については、職員間で情報共有して個人の把握に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>計画作成担当者・担当職員間で話し合いをして、計画を作成している。</p>	<p>利用者には担当をつけており、担当ケアマネジャーと共同で計画を作成し、家族にも説明、同意を得ている。利用者、家族の意向に沿ったケアプランの作成がなされている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>個別記録を通じ、体調変化や精神面での変化をスタッフで共有し、介護計画の見直し等に生かしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>ニーズがあれば、その都度ご家族様とお話しをさせて頂き、最善の対応を取っている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>町内行事への参加はしているが、より地域に密着したサービス提供ができるように地域との連携をしていきたい。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>協力医療機関との関係を大事にした上で、ご本人・御家族の希望に合った対応で受診して頂いている。</p>	<p>入居時に、それまでのかかりつけ医か事業所の協力医かを選ぶことができ、かかりつけ医に受診する場合は家族が対応するか、難しい場合は職員が対応している。協力医の場合は、定期的な訪問診療を受けることができ、適切な医療が受けられる体制ができている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	職員は、随時、訪問看護師への連絡を取れる体制をとっており、迅速に対応できるようにしている。		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	主治医及び協力医療機関とは、管理者・看護師を通じて、相談・指導を受けられるよう、日頃から連携がとれるよう努めている。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	入所時には、終末期についての説明をしている。終末期になった場合のケアのあり方も、マニュアルを作成し対応できるようにしている。	入居時に重度化した場合の対応についての説明を行っているほか、実際に重度化した場合は家族と話し合い、方向性を検討している。看取りの事例もあり、看取りに関する計画書、同意書の様式も用意されている。	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	緊急時の対応は、マニュアルを掲示して指導している。又、救命救急講習の実施も定期的に行っている。		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	緊急連絡網を整備し、緊急時の応援体制を作っている。	年に2回避難訓練を行っており、火災時におけるスプリンクラーの留意点など、消防署からの指導も受けている。また、地域の消防団の協力や、近隣施設の職員の協力も得られる体勢が整えられている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	外部講師を招いての接遇研修の実施を通して、言葉かけ・対応の技術向上に努め実践している。	一人ひとりの人格の尊重のために、外部講師を招いての接遇研修や、対人関係対応力向上のための研修もなされているなど、利用者の誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応がなされている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	選択肢を持てる質問や、自己決定をできるように声かけを心がけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	一日の流れは決まってはいるが、個人個人の意思を尊重し対応している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	身だしなみ等に注意しながら介助にあたるように、職員に指導し実践している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	食事は皆様の希望や季節感を大事にしながらか準備している、又、食後の食器の片付け等ができる方には、お手伝いをお願いしている。	利用者の好みは、食べ残し等を把握することで嗜好の把握に努め、利用者が食べたいものを献立に反映させている。食材は職員が調理し、誕生会においてはケーキを用意したり、片付けを利用者に手伝ってもらするなど、食事を楽しむことのできる工夫がなされている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>食事量・水分量は毎回記録して、状態把握できるようにしている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>口腔ケアは毎食後実施するように、介助又は声掛けしている。毎週、訪問歯科受診が往診にきており、受診可能な体制をとっている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>排泄表を活用し、定期的な排泄の声掛け・介助を実施して、失敗がないように心がけている。又、個人個人の状況に合わせて、自立に向けての支援をしている。</p>	<p>排泄チェック表を用い、排泄や水分量をチェックし、トイレ誘導など適切な排泄に向けた取り組みがなされている。リハビリパンツや布パンツの使用など、オムツの使用は最低限におさえ、ポータブルトイレではなく、トイレにおいて排泄ができるようにするなど、排泄の自立支援に向けた取り組みがなされている。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>日々のレクリエーションで、近くの神社に散歩に行くなどの運動への働きかけをしている。排便の確認は毎日行い状態把握を行っている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めず，個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>入浴時間は午前・午後とに分けて実施している。声掛けでタイミングを合わせて実施している。</p>	<p>夏は週に3回、冬は週に2回入浴することができるほか、毎日お湯を沸かすため、随時入浴対応できるようになされている。脱衣場は冬でも暖かくしており、床暖房もあるほか、利用者の好みに合わせて20～30分の長湯も対応できている。また、好みに合わせてシャンプー等も種類を変えている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	その時々状態に合わせた休息の取り方をして頂き対応している。		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	訪問薬剤師に指導を受け管理・投薬をしている。処方された薬は一覧表にしてスタッフが分かるようにしている。薬による症状の変化等があった場合には、都度医師・看護師に相談し対応するようにしている。		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	できる事はなるべくご自身で頂くよう声掛けをしている。掃除・洗濯・食器洗い等の家事全般への参加、レクリエーションに隣接の施設を利用する等の変化をつけて気分転換等の支援をしている。		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	近所への散歩は随時実施している。又、御家族との外出は自由にできるようにしている。	レクリエーションの中で散歩も取り入れているほか、家族の対応による外出も随時行われている。散歩は近所の神社に出かけるほか、初詣、とんどなどの地域行事にも積極的に参加しており、外出行事として、マイクロバスも手配して出かけるなど、日常的な外出支援がなされている。	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	個人での金銭管理は基本していない。必要であれば、施設で立替対応している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>希望があれば電話も掛ける事はできる。ハガキの準備もし、手紙を出す事もできる。手紙が届けばご本人にお渡ししている。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>共用空間は、側面に窓を広くとることで開放感と季節感を出せるように配慮している。照明も2種類にすることで調整できるようにしている。</p>	<p>共有空間は広く開放的であり、照明の数も多く、ダウンライトやシャンデリアなど、複数の照明を生かした落ち着いた空間になっている。窓も大きく自然光や風通しもよい。フロア内で小型犬を飼っており、癒しの空間を創出している。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>共用空間はゆったりとした作りにしており、思い思いにくつろげるようにしている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>入居時には、ご本人・御家族と相談して自宅にある使い慣れた家具を持ち込んで頂けるようお願いしている。</p>	<p>利用者はなじみの物品を持ち込む事ができ、事業所からの制限はない。押入れも広く、家具を置きやすいように、スペースも確保されており、利用者が居心地よく過ごせるような居室の配置になっている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>建物の構造は安全に配慮しており、一人ひとりの自立の支援を心がけて、見守り介助している。</p>		

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらい ③利用者の3分の1くらい ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホーム丹那の杜

作成日 平成27年 4月 16日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議での御家族等の意見聴取の徹底について。	毎回の会議で、1 課題以上の意見聴取する	今後の運営推進会議時に意見聴取していき、更に改善に結びつける。	2015年8月迄
2	13	職員教育（研修）を毎月実施する。	職員の技術・知識水準を高め、介護サービスの安定化を図る。	毎月の研修実施の継続と、不参加職員への再度の研修実施を継続する。	2015年～2016年
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。